

遊ぶが如く学ぶ

教授 桑 森 真 介

1. 研究内容

本演習室の授業では、各学生が事前に関心・興味に基づいて選んだ文献（本や論文）の内容について発表し、そのキーワードに関して学生間で意見交換・議論をする。また、必要に応じて、4、5人のグループに分けて意見交換・議論をして、その結果をグループごとに発表し、全体で意見交換・議論をする。

上記の意見交換・議論の中から、研究テーマが見つかった場合には、そのテーマに関してさらに深く文献研究を行う。また、調査・測定実験が必要になった場合には、可能な範囲で調査・実験を行う。

2. ゼミの進め方

《2年次》

自分の興味・関心のあることについて調べ、学生間あるいは学生・担当教員間で意見交換・議論することを通して、発表し、他の意見を聞き、議論をすることの楽しさや意義を体得する。

到達目標1：ゼミ活動に積極的に参加する。

到達目標2：興味・関心がある文献を読み、分かりやすく発表する能力を身につける。

到達目標3：学生・担当教員間あるいは学生間で楽しく積極的に意見交換・議論する姿勢を身につける。

《3年次》

2年次に引き続き、発表と意見交換・議論を行い、研究に繋がるテーマを見つけ、そのテーマに絞った文献を読む。また、調査・実験が必要になった場合には、その実現可能性について検討し、可能な範囲で調査・実験を行う。3年次では、自らの興味に基づいた研究テーマについて自主的に調べ、他と意見交換・議論し、研究の繋げていくことを楽しむとともにその意義を理解する。

到達目標1：研究に繋がる可能性のあるテーマを自ら見つける。

到達目標2：研究に繋がる可能性のあるテーマについて、自主的に調べる。

到達目標3：興味・関心があるテーマを、研究に繋げることが可能かどうかを、学生間および学生・担当教員間で議論する。

興味・関心のあるテーマが研究に繋げることが可能ということになった場合には、担当教員の指導の下、研究計画書を作成する。必要があれば、予備調査・測定および本調査・測定を実施する。研究の成果を、パワーポイント・ファイルとしてまとめ、発表する。

《4年次》

各自が設定したテーマに関して調べた結果を、パワーポイント・ファイルや論文としてまとめることを通して、自身の興味に基づいたテーマについて深く理解することを楽しみ、その成果を何らかのかたちでまとめることの意義を体験的に学ぶ。

到達目標1：興味・関心のあるテーマについて、それまで調べてきたことをパワーポイント・ファイルにまとめ、発表の準備をする。

到達目標2：発表後の意見交換・議論を踏まえ、その内容をパワーポイント・ファイルあるいは論文にまとめて提出する。

論文を作成する場合には、担当教員が指導・チェックを行う。論文の内容が優れていれば、学内の学生用論文集に投稿する。

3. 教材

特に指定しない。

4. 成績評価の方法

ゼミ活動に参加する姿勢・態度、発表、成果物の提出等から総合的に評価する。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

学生の都合・希望等を聞いたうえで、可能であるならば、夏季休暇中あるいは冬季休暇中にゼミ合宿を行う。